

ENGINEER

MPDP

ダイアリー

高崎 充弘



[Profile]

東京大学工学部卒業後、三井造船入社。米国レンスラー工科大学で修士課程修了後、㈱エンジニアの前身である双葉工具に入社。2004年に同社代表取締役社長に就任。独自の「MPDP理論」によるニッポンのモノづくり立国を提唱している。



第56回 ネジザウルスの進化 ～カンブリア大爆発'17～

今年は1月号から3月号でMPDP誕生秘話をご紹介し、4月号から7月号まではiFデザイン賞の受賞報告やデザインと意匠の微妙な関連について考察、そして8月号から前号までウルス号のキャラバン展開のお話をさせていただきました。「MPDPダイアリー」というタイトルのコラムですから、本来は日々の商品開発の状況をリアルタイムにお話しすべきなのですが、前記のようなシリーズで展開する必要のある大きなテーマを選定しましたので、新製品については全く触れてきませんでした。

しかし、もちろん製品開発を怠っていたわけではありません。複数の開発案件をM→P→D→Pで進行しており、2017年秋以降、5品種（9SKU）の新製品が発売されることになっています。これらはいずれもネジザウルスと同じく、ネジのトラブルを解決する製品です。

初代ネジザウルスの販売開始が2002年、3年後に大きいネジ用、その翌年に小さいネジ用が完成。リーマンショック後の2009年にはシリーズ最強のネジザウルスGTが誕生し、同時にMPDP理論が抽出されました。そして

ネジザウルスの進化～カンブリア大爆発'17

2002年	ネジザウルス (初代)	
2005年	ネジザウルスXP (2代目)	
2006年	ネジザウルスm2 (3代目)	
2009年	ネジザウルスGT (4代目)	GOOD DESIGN
		MPDP理論
2014年	ネジザウルスRX (5代目)	GOOD DESIGN
2015年	ネジ・バズーカ	
2016年	ネジザウルスZ (6代目)	GOOD DESIGN
2017年 10月	ネジ・モグラ & 陸自仕様ネジザウルス	
11月	パイス・ザウルス & ネジザウルス・リキッド	
12月	ポンプラ・ザウルス	

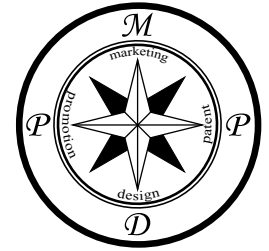
2014年に「RX」、2016年に「Z」が完成。15年間で6品種、つまり1品種当たり2年半のペースでした。5億年前のカンブリア紀は、生物が急激に増えたことからカンブリア大爆発とも呼ばれますが、3カ月で5品種もの新製品が生まれる今年にはネジザウルス大繁殖期といえます。

さて、カンブリア大爆発の原因については生物が「目」を持ったことで、進化のスピードが急激にアップしたなどさまざまな仮説が唱えられているようですが、カンブリア系ネジザウルス大繁殖の引き金となったのは2015年に誕生したネジ・バズーカだと考えています。ネジザウルスでも外せなかった頭が出ていない「皿ネジ」にも対応できるというのが最大の進化ポイントであり、プロモーションにおける最大の訴求ポイントです。「皿ネジ」を外したいというお客さまのニーズはネジザウルス発売間もないころからありましたが、ペンチ型である従来のネジザウルスでは構造上不可能でした。そこでさまざまな実験を繰り返して完成したのがネジ・バズーカでした(2015年11月～2016年2月号)。



5品種の共通点はまさに「ネジザウルスでも回せなかったネジに対応」できること。当社ではカンブリア系ネジザウルスを進化させ「あらゆるネジトラブルをワンストップで解決する」をコアコンセプトとして、ネジザウルスブランドをグローバルに展開していきたいと考えています。

5品種の共通点はまさに「ネジザウルスでも回せなかったネジに対応」できること。当社ではカンブリア系ネジザウルスを進化させ「あらゆるネジトラブルをワンストップで解決する」をコアコンセプトとして、ネジザウルスブランドをグローバルに展開していきたいと考えています。



銀：いや～、一気に仲間が増えましたな！

ウ：15年前はボクのご先祖の初代はん、たった一人……いや一匹で……頑張っはったんやな。

高：隔世の感があるね～。初代ネジザウルスから15年を経て6品種になったが、2015年に誕生したネジ・バズーカはそれらとは明らかに違う品種だったね。

銀：外観がペンチ型やのうて、ドライバービット型やし。

ウ：もっと大事な違いは、皿ネジにも対応できるっちゃう新たな機能を身に付けたことでっしゃろ。

高：その進化がカンブリア大爆発*17のヒントになった。

銀：これだけ品種が増えてきたら、分類したほうがよろしいな。どれつこたらええか、お客さんが迷わはるかもしれまへんし。

高：生物では、界→門→綱→目→科→属→種で分類しているね。例えばヒトであれば、動物→脊椎動物→哺乳→霊長→ヒト→ヒト→サピエンスとなるそうだ。

銀：ほんなら、ネジザウルスGTやったら、道具→作業工具→ネジトラブル解決→ネジザウルス→GTかな！ ちょっと感動～。（*^^*）

ウ：ネジ・バズーカやったら、……→ネジトラブル解決→ネジザウルス→ネジ・バズーカ……やんな！

高：分類法はよく分かったね。「ネジトラブル解決」という上位の階層と概念を意識することが大切なんだ。次はカンブリア系ネジザウルスを分類してみよう。

銀：ネジ・モグラちゅうのは、ドライバービット型やからネジ・バズーカと同じ仲間やな。

高：六角穴付きネジがなめたときに、簡単に外せる道具なんだ。しかもハンマーで衝撃を加えなくてもいいし、電動ドライバーでも使える。

ウ：分類ゆきま～す。ネジザウルス→ネジ・バズーカ→ネジ・モグラ……かな。

高：十字溝や六角穴の損傷程度によって、軽症用（Initial）と重症用（Final）の分類を追加したほう

がいいね。

銀：ネジザウルスはネジ頭そのものを掴んで回すから、溝の損傷を気にする必要はなかった。けど、頭が出てへん皿ネジを相手にするバズーカやモグラはその分類がキモやねんな。

ウ：僕らからInitial&Finalの分類・標準化と、それぞれの最適ツールの情報を世界に発信したいですな。

銀：次はバイス・ザウルスやけど、ペンチ型してるからネジザウルスの仲間でっか？ その出発点はなんでしたん？

高：ネジザウルスの愛用者から頂いた「ネジの頭を掴んだ状態で回すのは力が分散する」という要望だよ。

銀：なるほど～。バイス・ザウルスやったら、ネジの頭をロック機構で完璧に保持できますやん。あとは回すだけやから女性や高齢者でも楽チンやわ！ これは独自の進化といえまんな。

ウ：それでは分類ゆきま～す。ネジトラブル解決→ネジザウルス→バイス・ザウルス……。 (*^^*)

銀：一番気になってんのが、ネジザウルス・リキッド！ 何かの液体みたいやけど、これなんでんの？

高：さびたネジに滴下するだけで、あっという間にさびを落とすことができるリキッドなんだ。

ウ：さびたネジをドライバーで回すと、ようなめまんねん。

銀：かというてネジザウルスでは、パワーが強いからネジの首だけが飛んでまうこともありますな。

高：まずこのリキッドで、座面とネジ噛み合い部のさびを瞬時に分解し、そのうえでネジザウルスを使っていただければ万全なんだ。

銀：合わせ技か！ ネジザウルス・リキッド一本勝ち！

ウ：またまた分類ゆきま～す。ネジトラブル解決→ネジザウルス→ネジザウルス・リキッド……。 (*^^*)

高：次号も、カンブリア系ネジザウルスの続きをご紹介させていただきますので、どうぞお楽しみに！